



report on the activity
in 2018.4-2019.3

美山木匠塾

美山町・大野とは

美山町は京都市の北部に位置する自然豊かなところです。
私たち美山木匠塾は美山町の西部に位置する大野町で活動しています。

国宝陶芸作家の野々村仁清は大野の生まれとされ、
その生家は地元の人が手入れをして、
今でもその姿を残しています。

地区を通る府道 12 号線は、
バイクや自転車のツーリングコースとして人気があり、
長期休暇には大勢のツーリスト達を通ります。

大野区も豊かな自然に囲まれています。
空気が澄んだ晴れた夜空には満天の星が広がり、
6 月ごろには多くの蛍が飛び交います。
都会では触れることのできない

“美しい自然”

がここにはあります。

Contents

美山町・大野とは…p 1

目次…p 2

摂南大学活動報告

一年を通じた内容…p 3

add-vench2…p 4

京都府立大学活動報告

一年を通じた活動…p 5

打ち水イベント…p 7

絵本…p 8

Events

さくら祭り…p 9

大野区民体育大会・感謝祭…p10

もみじ祭り…p11

製作合宿…p12

ホームステイ…p13

感想

京都府立大学メンバー…p14-p19

摂南大学メンバー…p20-p23

2018 年度総括…p24

Credits…p25

摂南大学 2018年度 活動報告

5月「ミニモク」

5月3日～5日にかけて、絵本や制作物のための現地調査の合宿を行った。班に分かれて調査を行うだけでなく、前回のホームステイでお世話になった里親さんのお手伝いをしたり、絵本の意見をもらったりした。また今回は、屋外イベント「木匠パーティーナイト」を行い、木匠塾の活動を紹介した。



6.7月「現地プレゼン」

1泊2日の現地プレゼンの合宿を行った。制作案を現地の方にプレゼンし、様々な意見をいただいた。また、夏の制作合宿に向けて工具や塗料の使用法を学ぶ木工講習会を塾長の羽原先生がレクチャーしてくださいました。



9月「制作合宿」

今年は、昨年度制作した add-vench をより良いものにするため、トンネルや高さを変え、バリエーションを増やした



10月「大野区民体育大会、感謝祭」

大野区の一大会。大野の皆さんと一緒に体を動かし食事をして楽しい時間を過ごした。また、今年度の制作物



11月「もみじ祭り」

美山町大野ダムで開かれたもみじ祭りでは、多くの人が訪



add-vench2は、ベンチ (bench) をつなげて (add) 冒険 (adventure) を生みたいという想いで作った造語です。add-vench2はベンチ、机としての役割と遊具としての役割を兼ね備えています。複数利用 (add) により、下部に空いたトンネルがつながって行き、迷路のようになり、高さの違いから生まれる隙間から顔を出したりと、小さな冒険を楽しむことができます。

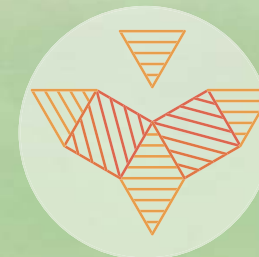
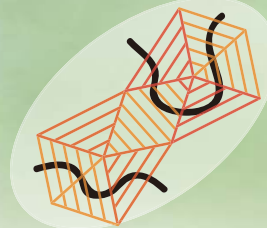
このように子供たちが遊具として遊んでいる様子を、大人はベンチや机として利用しながら見守る事ができます。大人と子供と一緒に遊んだり、子供と大人と一緒に休憩するシーンを生むような、コミュニケーションを活性化させる、今までにない木のデザインのありかたを目指しました。



配置図例

一番低い600mmの正三角形が6個あり、150mmずつ高くなるのがそれぞれ2つずつ作られ、形は直角三角形となっています。

これらの組み合わせ方は、子供たち自身によってパズルのようにたくさん生み出されていきます。



組み合わせによって、トンネルが迷路のように先が見えないワクワク感を子供達に感じさせ冒険するように遊べる。

2018年度

製作



ホームステイ
大野区の方の農作業や、薪割りなどの手伝い、散歩などを通して、2017年度の add-vench の感想などを聞き、2018年度の製作物検討の参考にしました。

現地プレゼン



2017年度のプレゼンは違い、区長さんたちだけでなく、大野区一般の方々の前でプレゼンし、様々な意見を聞くことができました。

製作合宿

2017年度同様に製作合宿を行いました。この合宿で2017年度とは高さの形異なる、天板が二等辺三角形の add-vench4 つを製作しました。



4

GW 合宿・赤原登山

5

1日目はリーフレットに沿って大野を巡り、2日目は製作物を活用して、地域の方も参加した木匠 Party Night を開催しました。3日目は地域の方とともに赤原に登りました。頂上ではじゃんけん大会で地域の方と交流しました。

6

7

▲木匠 Party Nightの様子
再録：赤原に登る
▼地域の方と赤原登山

8

現地プレゼン・木匠 Party Night

9

今年の現地プレゼンでは、木工教室と木匠 Party Night の2つのイベントを行い、夜には地域の方と蛍を見に行きました。木匠 Party Night では地域の方にも大勢参加していただきました。木工教室では電動工具の使い方のレクチャーを受け実際に実践しました。現地プレゼンでは地域の方から貴重な意見をいただくことができました。

10

▲現地プレゼンの様子
再録：小野橋
▼木工教室の様子

- 9 さくら祭り
- 打ち水
- もみじ祭り
- ホームステイ

2018年度 年間活動報告

京都府大チーム

11

Linktopos

12

今年度も Linktopos に参加しました。1日目は木匠塾の活動紹介プレゼンなどを行い、夜には他大学の学生との交流を深めました。2日目はグループワークを行い、3日目にはポスターセッションを行い全国に向けて木匠塾の活動をアピールできたと思います。

1

▲プレゼンの様子
再録：海に沈む夕日
▼ポスターセッションの様子

2

Events

3

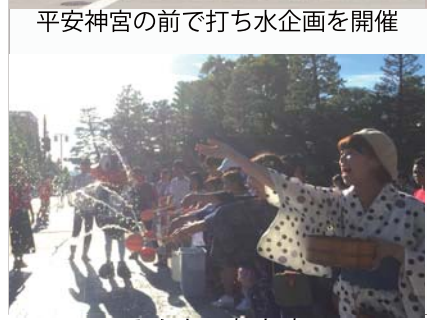
新歓イベントや模型作りのレクチャー、ライノセラウスの講習会を行いました。地域の方のログハウス作りのお手伝いもしました。今年度は初めて流木祭に出店しました。今年も体育会・感謝祭にも参加させて頂くなど、多くのイベントに参加させて頂きました。

▲3輪車による模型作り講習会
再録：新歓イベントでの撮り写真
▼流木祭での出店の様子

打ち水企画

H30.08.28

京都学生祭典の打ち水企画に協力しました。打ち水企画というのは、京都学生祭典が、学生から手軽なエコ活動を発信するために毎年実施している企画です。今年度は、通行人の方にもより興味を持って頂くために、水風船を使って気温変化をグラフで表し、打ち水の効果を可視化する取り組みが行われました。その際に水風船を吊るすための枠組みを美山木匠塾が製作するという形で企画に参加しました。



絵本制作 昨年度のリーフレットの3つのコースをもとに、大野を外部へ発信するため、絵本を制作しました。



2018/3: ホームステイの2日目に、3つのお話を作成し、3日目に大野の方に向けて、発表を行いました。大野の方から、たくさんの感想をいただくことができました。

2018/5: 合同ミーティングや現地プレゼンの際に、絵本を作る目的を共有し、地域の魅力や伝えたいことについて、話し合いました。



2018/9: 10月の体育祭に向け、もう一度伝えたいテーマや、情報を整理し第一回仮絵本を制作しました。



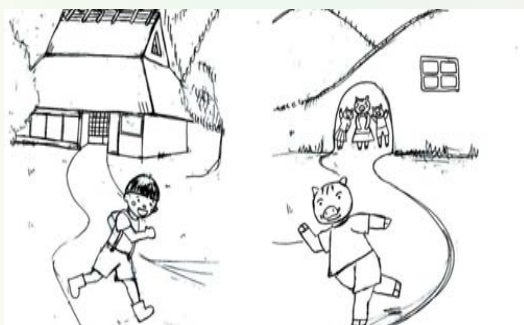
2018/10: 体育大会・感謝祭にて、第一回仮絵本をおひろめました。大野の方から、率直な意見をいただくことができました。



2018/12: 大野の方に、イノシシによる作物被害の様子を、見せていただきました。



2019/3: ホームステイ2日目に大野の子どもたちに集まっていただき、絵本に色塗りをしてもらいました。大野の方と「共創」することができました。



さくら祭り 2018/4

仁清里づくり委員会及び大野の方々に、ご協力をしていただき、大野ダムさくら祭りに参加しました。

持参したギターと大野の方にお借りしたカホンを用いた演奏会と、温かいお茶の炊き出しを行いました。雨の影響により、一時演奏の中断等もありましたが、多くの方に聴いていただくことができました。



演奏を聴いてくださった方から、活動について質問をいただき、その流れの中で「カホンを叩いてもらって、セッションをして欲しい。」と急遽お願いしたところ、快く受け入れてくださり、一緒に演奏をすることができました。演奏会での製作物の活用により、新しい形で交流を広げられることが、確認できました。



体育大会・感謝祭

毎年開催されている、大野区民体育大会感謝祭に今回も参加させて頂き、その中で摂南大学の制作物を大野の方に実際に使って頂くと共に新たに取り組んでいる絵本づくりの成果物も大野の皆さんに読んでもらい、修正点や新たな要望などをお聞きすることが出来ました。



自分たちが、考えて作り上げた作品を現地の方たちに使って頂けるのはとても貴重な機会で、楽しそうに遊んでくれる子供たちを見ると本当に「作ってよかったな」と思える、貴重な一日でした。



もみじ祭り

紅葉の時期に開催されるもみじ祭りでは現地の方が出店を並べる中、一部スペースを貸していただき、今年度の制作物を、椅子や机として自由に利用していただきました。

高さの違いから生まれる段差が様々な用途を生み出し、アドベンチの可能性を引き出してくれました。また、定まらない視線が多方向へのコミュニケーションを作り出します。



大野の方達と一緒に行事に参加



学生間には自然と笑みが



自分たちの制作物を紹介



制作途中の絵本を読んでもらいました。



美山町ではよく見られる、サイクリングの人々は、中心を囲うように団欒を築いていました。制作物は、完成した後も、使用する人、場所などで、いつまでも作り続けられる物なんだと考えさせられました。

制作合宿

9月の9日～13日にかけて大野公民館と求裕館をお借りして制作合宿を行いました。今回は摂南大学の制作物を京都府立大学の協力の下、2大学で1つの作品を作り上げることとなった両大学でそれぞれ日ごとに作業を分担しながら出来るだけ効率よく作業を行った。天候に恵まれない日や作業中のミスもあったが、お互いに支えあいながら何とか期間内に完成まで持っていくことができた。



1日目



2日目



3日目



4日目



5日目

完成!



ホームステイ

3月9、10日の二日間でホームステイを行いました。日中は里親さんのお手伝いをしたり、シイタケの菌打ちを体験したり、村の清掃活動に参加したり、夜には里親さんと語り合ったり…今までよりさらに深く大野について知ることができ充実した二日間となりました。



大根をおすそ分けしていただきました！
美味しかったです！

しいたけの菌打ちを体験させていただきました！



木の上に組み立てたハウスに登って枝を間引くお手伝いをしました！



ホームステイと同時に、子供たちに絵本の読み聞かせを行い、実際に絵本に色を塗ってもらいながらヒアリングを行いました。はじめは色を塗ることをためらっていた子供たちですがだんだん打ち解けてくると各々ペンをとり「何色にしようかな～」と言いながら楽しんで自分オリジナルの絵本を作っていました。子供たちからどんな遊具があったら嬉しいかなど製作物に対するヒアリングもでき貴重な時間となりました。

この一年を振り返って



京都府立大メンバー

木村美月 Mizuki Kimura/ 京都府立大・1回

私が木匠の活動で刺激になったことは LINKtops の活動です。LINKtops とは全国の国公立大の学生が集まり、活動を報告し合ったりWSを行ったりする活動です。参加した当時は1回生だったこともあり、木匠での自分たちの活動の意味を再確認するいい機会になりました。特に木匠の活動をPRするポスター発表では、事前に準備したポスターから発表原稿を考え、時間内に発表する力や質問に対応する力などが身についたように思います。



浅野友希 Yuki Asano/ 京都府立大・1回

この1年間で私は協力することの大切さを学びました。制作物や普段のパワーポイントを考える際に、初めは自分一人のできるだろうと踏み込んでいました。けれども実際には、自分の考えたものは大したことのないものでした。それに対し、他人と協力して考えたものはクオリティが高く、ストーリーの面白いものばかりです。その上、作業も楽しく効率が良いです。協力する態度を忘れないことが私には最も必要でした。



塩見悠一郎 Yuichiro Shiomi/ 京都府立大・1回

この1年木匠塾で非常に有意義な時間を過ごすことができました。大野で行った合宿では大自然に触れつつ地域の人々とのつながりを持つことができ、LINKtoposではより強い意志を持って活動をしている人から大きな影響を受けました。一番の活動である‘製作’では、地域の人々にとって何が必要なのか、どのようなものが地域活性化に繋がるのかを試行錯誤して考えていく過程が、自分の思考能力の向上につながりました。このような機会を大切に、自分自身を成長させていきたいです。

荒木真志 Masayuki Araki/ 京都府立大・1回

美山木匠塾での一年を通して感じたのは、最初、この団体が活動するのは現地での制作が全てだと思っていました。しかし、実際には現地に行って制作する前に膨大な量の調査やヒアリング、学内での何時間にもわたる会議がありました。そこにこの活動の重大さ、責任の大きさを実感しました。だからこそ制作物が完成したとき達成感を感じましたし、やりがいもおおいに感じられる一年でした。



布井雅大 Masahiro Nunoi/ 京都府立大・1回

私が美山木匠塾で参加したのは、ゴールデンウィークのミニモク合宿です。ここで私は木匠塾の活動地域の大自然に行きました。大自然は自然に溢れていて、都会では感じられないゆっくりとした時間の流れを味わうことができました。自分たちで料理を作ったり、地域の方を招いてBBQをしたりすることで一体感を感じ、楽しかったです。また、制作物について、自分たちで考えて案を発表することで、環デとしてとても経験になりました。

植地俊輔 Shunsuke Ueji/ 京都府立大・1回

木匠塾の活動に参加してよかったと思う瞬間が何度もありました。その多くが地域の方と接した時です。赤原登山などの地域イベントに参加した時もそうですが、合宿中などに道ばたであった時などでも、声をかけてくださり、本当にあたたかい気持ちになります。そのようなことがあるからこそ、制作物を考える際によりリアリティーが増し、モチベーションも上がります。こういったものづくりを通した人との繋がりは他のサークルではなかなか経験できないし、そこが1番誇れるところです。



八十川天音 Amane Yasokawa/ 京都府立大・1回

打ち水製作で、私は製作のみ参加しました。最初の製作の流れを聞いた時、「簡単にすぐに終わるだろう」と思っていたのですが、そうもいかず、木を扱うことの難しさを知りました。木目の表情や、木のゆがみを、どう作品に溶け込ませるか考えながら作ることを学びました。最後完成した時の嬉しさは大きなものでした。ものづくりでしか得られない達成感を味わうことができました。



山本有里菜 Yurina Yamamoto/ 京都府立大・1回

今年度、私は絵本製作に大きく関わらせていただきました。絵本を作る中で作業を分担することの難しさを痛感しました。例えば文章と絵の連携がうまく行かなかったりチームの中でも全員が参加できなかったりすることもありました。その中で協力してくださった大野の方々、先輩方、先輩方にとっても感謝しています。また来年度は、絵本のみならず制作活動を引っ張る立場となります。わからないことだらけで不安もありますが仲間と協力して頑張っていきたいです。

白石晃 Hikaru Shiraishi/ 京都府立大・3回

2018年度は木の制作物を作ることはありませんでしたが、美山町大野区についてのジャーナルを通して大野の歴史や風土について再認識する機会が得られたことは良かったと思います。特に絵本、リーフレットの取り組みでは、大野の生態系と人間社会との関わりに関する調査や観察をへて、大野区の風土について新しい知見を獲得し、ジャーナルとして広く周知することが出来たように思います。絵本には一部ですが関わることが出来、良い経験となりました。



川島史也 Fumiya Kawashima/ 京都府立大・2回

今年度は主に制作に関わりましたが、グループ設計をしていく中でなかなか意見がまとまらず、スケジュールに間に合わない結果となってしまいました。グループ設計における議論の難しさを痛感しましたが、より一層設計に対する意欲がますますきつかけともなりました。今後この経験を糧に他分野での活動にも活かしていけたらと思います。



手島悠登 Yuto Teshima/ 京都府立大・3回

今年度の活動は学ぶことの多かった年だと思います。絵本統括としてメンバーをまとめ、「絵本の発行」をできたことは自分でも評価したいと思いますが、目標としていた絵本のクオリティやコンペに出すところまではいかず、スケジュール管理や人を率いることの難しさを感じました。失敗した事は多かったですが、どのスキルも社会人になった時に「向いていない」の一言で、他人事のように逃げることはできません。今年度の学びを活かして活動を支え、そして成長していきたいです。



肝付成美 Narumi Kimotsuki/ 京都府立大・2回

今年度は上手くいったことも上手くいかなかったことも両方経験した年でした。初めて参加した赤原登山では改めて大野の自然が美しいと感じました。初めて行った木匠 Party Night では、新しい地域との交流の仕方を見出せました。今年度のメイン活動であった製作ではクライアントの要望を形にし、まとめる難しさを実感しました。そのほかにもいろいろな活動に参加しました。そこででた良かった点、悪かった点はすべて今後の木匠塾での活動や、自分自身の活動に活かしていきたいです。



中江宥斗 Hiroto Nakae/ 京都府立大・3回

私は、今年度から美山木匠塾に参加しました。はじめは、美山についてもあまりよく知らずに参加していました。しかし、美山木匠塾の活動を続けていく中で制作合宿では木材を使うことの面白さや難しさを学ぶことができ、もみじ祭りでは美山の良さや地域との結びつきの強さを感じることができました。この1年間で培った経験はこれからはしっかりと生かしていきたいです。ありがとうございました。

谷敏史 Satoshi Tani/ 京都府立大・2回

木匠塾での一年間、僕は主に制作活動に参加しました。自分たちのアイデアやクライアントの意見を形にしていく中でうまく行くこともありました。なかなか考えがまとまらず悔しい思いをしたこともありました。しかし、この体験を通して大学の講義だけではなかなか感じることでできないプロダクトデザインの難しさ、面白さを体験することができました。



長岡真希 Maki Nagaoka/ 京都府立大・3回

初めて製作合宿に参加し、一からものをつくる工程を体験できて良かったです。製作の遅れている原因を考え、どう解決していくか考えるのが大変でした。今年度は、製作だけでなく、絵本づくりにも取り組み、また違うやり方で大野をアピールすることができたことを嬉しく思います。夏の合宿やもみじ祭りなどのイベントで大野に行く度、大野の人の温かさや自然の豊かさに触れることができました。そんな大野に次年度もっと貢献できるように取り組んでいきたいと思っています。



宮奥森伍 Shingo Miyaoku/ 京都府立大・3回

いつも私たちの活動にご協力いただいている皆様、ありがとうございます。2018年度代表幹事を務めました宮奥です。この1年は木匠パーティナイトやもみじ祭りなどの成功と、企画の頓挫や府大製作の失敗などがあった波乱の1年だったと思います。私自身も代表幹事として未熟なところが多々あり、サークルを牽引していくために様々な苦悩を重ねました。今後は、自分の経験を後輩に伝えていくことでサークルに貢献していこうと思います。



松本哲弥 Tetsuya Matsumoto/ 京都府立大・4回

美山木匠塾では、大学の講義や演習では得られない実践的な体験ができるということが一番に感じました。美山町大野区の広場に実際に設置する木製遊具や、大野区の町並みを紹介するリーフレットの制作は、グループでひとつのものを作る難しさや施工するにあたっての壁など苦労が多かった分、得られた経験も多かったです。そうした経験は、大学卒業後も生きてくると確信しており、大変有意義な時間を美山木匠塾で過ごせました。

井上あい Ai Inoue/ 京都府立大・4回

2018年度は大野へあまり行くことができず、残念に思っていました。大野へ行ったメンバーからホームステイ先だったおばあちゃんからのメッセージやお菓子などをいただき、人の繋がりを感じ嬉しくなりました。それは地域と深く関わって活動している美山木匠塾ならではの経験だと思います。最近では、絵本などますます活動が盛んになり、協力して下さる大野の方や先生方、メンバーに感謝しています。ありがとうございました。

淡路谷直季 Naoki Awajitani/ 京都府立大学院・修士1回

今年度も皆様にお世話になり誠にありがとうございました。今年は美山木匠塾にとって変化と困難が多かった年だと思います。たくさんの壁にぶち当たって、うまくいかないこともたくさんあったと思います。その中で私自身たくさんのごと学び、改めて活動の面白さや楽しさを考える一年だったと思います。この一年で学んだことを活かして来年度の活動を盛り上げていけるように陰ながらサポートしていきたいです。



田村匠 Takumi Tamura/ 京都府立大・4回

今年度は活動のサポートに回る事が多い1年でした。約3年間参加してきましたが、木匠塾は他では経験できないことができ、今後の人生に大きな影響力を持っていると感じました。建築・デザインの知識・技術、組織の一員としての行動の仕方、物事への多角的な視点など、挙げればきりが無いほどのことを吸収しました。木匠塾メンバーや地域の方々を含めた木匠塾に関わってくださった皆様には大変感謝しています。ありがとうございました。



谷口悠貴 Yuki Taniguchi/ 京都府立大学院・修士1回

今年度は難しい一年でした。新たな試みとして絵本の製作を行いました。私は直接的に絵本を脚本、描画してはませんが、その挑戦への期待感と困難さが印象的でした。リーフレットでは写真をそのまま載せて表現できましたが、絵本はある意味0からの表現が求められました。大野の良さや伝えたいことを的確に認識し、それを手書きで表現することが組織的・技術的にも難しいです。その半面、絵本の経験が来年度の製作にも還元されることに期待しています。

中村優実 Yumi Nakamura/ 京都府立大・4回

私は木匠塾での活動を通して、長い時間をかけて大きな目標を成し遂げることの難しさややりがいを学びました。4回生になり2回生の時ほどに活動に協力することが出来ませんでした。後輩たちが私たちと同じように活動に取り組んでいるのを見て、同じように感じてくれたらと思います。私自身はもう大学を出て社会人になり木匠塾の活動に携わることは難しいですが、活動を通して学んだことを仕事でも活かしていきます。もし機会があれば、後輩たちの手助けにもなっていきます。

松原斎樹 Naoki Matsubara/ 生命環境学部・教授

前年度までの数年間は、木を活かす学生コンペで3年連続で受賞するなど順調に活動が発展してきていたと思います。しかし、活動のレベルが上がってくると、その水準を維持すること自体が生やさしいことではない、ということも学んだことが、今年度の収穫だったと思います。次年度は、維持にとどまらず、さらなる発展をめざすことを期待しています。もちろん、顧問としても、最大限の支援をするつもりです！



この一年を振り返って

摂南大メンバー

泉 奈緒子 / 摂南大・住環境デザイン学科 1 回

私は 1 回生だったので中心となって活動している 2 回生のサポートがほとんどでした。しかし、ミーティングを重ね、デザインを考えて図面におこし、実際に制作していくなど、普段の授業ではできないようなことを経験することができました。また、ホームステイはとても緊張しましたが、美山の方々は温かく迎えて入れて下さり、そして多くの大野の魅力を教えていただきました。これからの学生生活も頑張っていきたいです。

牛尾 朱里 / 摂南大・住環境デザイン学科 1 回

夏合宿で初めて美山町大野区を訪れました。2 回生のサポートがほとんどでしたが、自然豊かな環境で先輩と一緒に考えた制作物を作り上げるという、普段できないことが体験できたのでとてもやりがいがありました。ホームステイでは、ひやくをお手伝いすることで地域の方々と密接に関わることができ、最後の絵本のヒアリングでは直接意見を聞くことができとても参考になりました。この貴重な経験を今後活かしていきたいと思います。

彦井 麻菜 / 摂南大・建築学科 1 回

私が美山木匠塾に入ったきっかけは、「木を使って何かを製作したい」「先輩と関わりたい」の 2 つでした。実際に美山木匠塾に入ってみると製作だけでなく、製作のためにアイデアを出したり、スケッチをして模型を作ってみたりなどいろいろな経験をさせていただきました。

また、現地に行くと大野区の方々も気さくに話しかけてくださったり、星を見たり自然をたくさん感じる事が出来ました。この経験を活かして今後も何事も頑張っていきたいです。

岩沖 巧巳 / 摂南大・建築学科 2 回

昨年の活動では、摂南大学の学生幹事を務めさせて頂き、学生間をまとめる立場として豊富な経験を積む事が出来ました。主に制作の主体が 2 年生ということもあり、2 年生が中心となる木匠塾の活動の中で学生間でミーティングを重ねながらデザイン・設計をするという事の楽しさであったり難しさという面も体感するのは大学では中々学べない学外での活動ならではの貴重な体験だったと思います。その中で得た、失敗や反省を生かし今後の自身の成長へと繋げられるようにより一層努力を重ねていきたいです。

西 紗也香 / 摂南大・建築学科 2 回

2018 年度から活動に参加したため、慣れない土地を訪れたり、その場で勉強をすることに最初は楽しみや不安がありましたが、周りの仲間のおかげで充実した一年となりました。

夏の製作合宿には参加出来ませんでした。秋のみじ祭り、年度始めに行うミニモクでは、勉強だけでなく地域の方との交流が沢山あり、人の暖かさや、自然の良さを実感しました。他大学の学生との交流はとても新鮮で、私にとってとても良い思い出になりました。

箕山 幸恵 / 摂南大・建築学科 2 回

美山木匠塾に参加して、はじめは難しそうで大変そうだなという印象でした。ですが、現地に行って地元の人と話したりしていると、とてもやりがいを感じました。大野の方たちは、いつもとても優しく、色々な話をしてくれて、時には食べ物も分けたりもしました。そして私たちの案を見て、自分の素直な意見を言うてくださることで、私たちもその期待に応えようと思えるようになったと思います。

夏休みの合宿では、考えたものを実際に形にすることができて、とても達成感がありました。大野の人たちが、子供からお年寄りまでたくさん利用していただけたことはとても嬉しかったです。

学校の設計演習ではお客様として意見を言うてくれる人がもちろんいないので、美山木匠塾のように地域の人と繋がって話し合っ大野を発展させることは、とても貴重な体験だしやりがいがあるなと感じました。この経験を活かしてこれからも頑張りたいなと思います。



この一年を振り返って

摂南大メンバー

福富 拓也 / 摂南大・建築学科 2 回

今年度は、昨年度とは違い、私たち 2 回生が主体となって活動した。制作活動は、ミーティング、現地調査を行い、いくつかの制作案を現地でプレゼンした。また、大野の方の意見をもらい、試行錯誤を繰り返しながら取り組んできた。そして今年度も大野の方達のご協力のもと、現地での制作合宿を行うことができ、素晴らしい環境で制作物を完成させることができた。企画から制作まで一貫して学生が行うという大変貴重な経験ができ、美山木匠塾の活動で普段学べないことを多く学べたと感じている。

森貞 剛志 / 摂南大・建築学科 2 回

僕が美山木匠塾の活動で一番に印象に残っているのは、大野区の感謝祭・運動会です。運動会では過去の木匠塾の制作物を設置しており、休憩、観戦のためのベンチとして活用していただいている姿や、遊具として子供たちが楽しそうに遊んでいる姿が拝見できました。様々なイベント、ホームステイなどで得たヒアリング結果をもとに、メンバー一丸となって検討し制作したものが、実際に使われている姿を見てとても嬉しく感じたことを覚えています。

森下 未貴 / 摂南大・建築学科 2 回

今年度の活動では、製作物、コンペシートの作成などしました。昨年より実践的な活動ができた 1 年になったと思います。どんな作業においてもゼロから作るのは難しかったです。その分出来た時の達成感や利用してる様子を見ることが出来ました。学生のうちにこのような体験を出来、改めて地域の皆さんや先輩のご協力に感謝をしたいと思います。

最後に、来年度の更なる躍進を期待し、私たちはこれからも多く学んでいきたいと思っています。

長谷川 駿 / 摂南大・建築学科 3 回

僕は 1 回生の夏頃からこの美山木匠塾に所属しており、今までは立案や制作など作業する立場でしたが今年度は後輩たちのサポートに立ち回ることが多かったと思います。3 回生のうちはコンペに応募したりインターンシップに参加したりとなかなか会議に参加することができませんでした。後輩たちが自分の意思をしっかりと伝え話し合いを進めている様子を見て、嬉しさを感じたのと同時に努力では負けてられないと就活に向けてより一層気合いが入りました。

廣門 晴人 / 摂南大・建築学科 3 回

昨年度は、6 月の現地プレゼン合宿以降なかなか活動に参加できず美山が恋しい一年間を過ごしました。名折れではありましたが副代表幹事としてこれからの美山木匠塾をどうして行くのか、代表や同級生と話をしつゆく内に、現地の方々をはじめたくさんの人たちの支えの元、私たち学生が貴重な経験をさせていただいているのだと改めて実感できました。

そしてまた、私は昨年度の活動を以って美山木匠塾を卒業させていただきます。第二の故郷・大野での日々はこの先忘れることのできない思い出になりました。約 3 年間、本当にお世話になりました。





2018年度の取り組み

制作活動:「わんぱく公園」

摂南大学:add-vench 2

地域間伐材を使用した子供のための遊具。

地域を知る活動:「絵本」

地域を知る取り組みに合わせ、Photoshop及びIllustratorの習熟度アップを目指した絵本制作を行った。

制作補助活動

京都学生祭典・打ち水イベント用什器

木工工具講習会

講師:羽原 康成

木工工具の扱い方についてレクチャーを行った。

川下企業見学会 / 建築見学会

【企業見学会】

株式会社内田洋行(本社)

株式会社パワープレイス(本社)

吉野中央木材(株)

Ryozan park 大塚

【建築見学会】

吉野杉の家:設計 長谷川 豪

現地ホームステイ / 合宿

美山町大野について知るため、ホームステイや合宿を実施した。合宿では、大野の住民との交流会を実施し、美山木匠塾の活動について紹介した。

制作物活用

京都学生祭典・打ち水イベント(平安神宮前)

大野ダム・もみじ祭り

大野ダム・さくら祭り

活動発表

全国公立大学学生大会(LINKtopos 2018)

木匠パーティーナイト in 大野

みやまもくしょうじゅく

美山木匠塾



美山木匠塾・参加大学

代表幹事 宮奥 森伍

副代表幹事 廣門 晴人

京都府立大学

大学幹事 肝付 成美

参加学生数 大学院1年生2名、4年生4名、
3年生5名、2年生4名、1年生10名

摂南大学

大学幹事 岩沖 巧巳

参加学生数 4年生1名、3年生2名
2年生6名、1年生4名

本年度は、活動の発展ではなく、学生主体の活動としての基盤整備を目標としたものの、その目標達成の難しさが明らかとなった年だったと思う。実務では、問題が無いように事前調整を行うことや、つまづいた時に問題を修正するための対処が重要になる。様々な失敗にめげず、成功した事も失敗した事も、学びにつなげる強さや、学びを実践につなげる成長に期待したい。じっくりと、がんばりましょう！ 塾長 羽原 康成

塾長

羽原 康成

顧問

京都府立大学 松原 斎樹 教授

特別顧問

ものづくり大学 戸田 都生男 准教授

協力

南丹市美山町 美山地域推進課

当活動の一部に

平成30年度京都府立大学法人学生地域活動支援事業及び
平成30年度京都府立大学地域貢献型特別研究の助成を受けた。

2018年度活動報告書

2019年5月31日発行

発行元

美山木匠塾 事務局

発行・編集

羽原 康成

〒596-0005

大阪府岸和田市春木旭町36-37

TEL 090-9887-0852